

平成 26 年度 調査研究報告書

飲食店における車いす利用者の バリアフリー調査

長野大学 社会福祉学部 伊藤専門ゼミナール

F11015 大久保雄太

F11509 島川 聡美

F12111 宮下 望実

目次

研究の目的、ねらい	2
調査の方法	2
調査の結果	2
アンケート結果.....	3～11
チェックリスト結果	12～14
人間工学的寸法・車いすの基本動作寸法.....	15
全店舗の座席と食器の平均値.....	16
全店舗バリアフリー状況一覧.....	17
考察・結論・感想.....	18
まとめ	19
付録.....	20～21
参考文献	22

研究の目的、ねらい

飲食店に車いす利用者が来た時に、困っている様子が見られ、なにができるかと疑問に思ったことがこの研究をするきっかけになった。

車いす利用者が単独で飲食店に行き、自立して食事が摂れる理想的な座席と食器の位置関係を調査しまとめる。また、車いす利用者が単独で食事をするができるような配慮について出入口や座席など必要最小限の情報を提供することにより、各飲食店がバリアフリー化をするための方策を検討し、調査と平行して助言する。そして、この調査結果はインターネットを通じて公表することにより、車いす利用者が単独でも気軽に食事することが可能な飲食店が増えていき、平等な社会が形成されるために必要な取り組みの一端となることを実証することが我々の主たる研究目的である。

調査の方法

大学のある上田エリアにおけるラーメン店を駅や福祉施設から1^{km}圏内でリストアップし、我々が作成したアンケート用紙と国土交通省の定めるバリアフリー新法の「建築物移動等円滑化基準チェックリスト」から抜粋した調査項目を用い、聞き取り調査を実施する。

飲食店のバリアフリーに対する意識や対応、障害者の来店頻度などを明確化するためにアンケート用紙を作成し記入してもらった(付録①参照)。

建築物移動等円滑化基準チェックリストは公共施設を建築する際にのみ使用されるため、飲食店はこの基準に該当しないため、飲食店におけるバリアフリーの基準は定められていないが、チェックリストを参考に抜粋した(付録②参照)。

調査の結果

アンケート結果から調査した6店のうち、2店については車いす利用者が来店することを想定しておらず、店内のレイアウトや出入口は一般的な状況であった。特にトイレに関しては全ての店舗で車いす利用者には対応できていない。例え面積は基準(ページ数)を満たしていても車いす利用者が利用することは困難である。また、店舗側も車いす利用者が来店した際にどのように対応したら良いのか明確化されていない。

各店舗のアンケート結果は3～11ページ参照。

チェックリストの結果は12～14ページ参照。

ケース 1

☆障害者のご利用状況

①障害のある方がご来店されますか？（複数回答可）

- 1, 肢体不自由 2, 聴覚障害 3, 視覚障害
- 4, 知的障害 5, 精神障害 6, 障害者だと思うが詳細はわからない
- 7, 障害者は来店しない

②上記の①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

どのくらいの頻度で障害者の方が利用されますか？（複数回答可）

- 1, 数か月に1回 2, 月に1～3回 3, 毎週1回
- 4, 週に2～3回 5, 毎日 6, 全く利用されない

③①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

障害者の方が来たときはどのような対応をしていますか？（自由記述）

☆バリアフリーへの対応状況

- 1, 強く進めている 2, 進めている 3, どちらでもない
- 4, 関心はあるが進めていない 5, 全く進めていない

☆今回の研究の調査結果の情報を公開する予定です。

そこで、どの範囲まで公開してよろしいでしょうか？

結果を公開した場合、障害者の利用が増える可能性もございます。（複数回答可）

- 1, 店舗名 2, 店舗種別 3, 所在地
- 4, 市町村 5, 店舗の外観 6, その他（ ）

アンケートにお答えいただきありがとうございました。

平成 26 年 11 月 28 日

ケース 2

☆障害者のご利用状況

①障害のある方がご来店されますか？（複数回答可）

1, 肢体不自由

2, 聴覚障害

3, 視覚障害

4, 知的障害

5, 精神障害

6, 障害者だと思うが詳細はわからない

7, 障害者は来店しない

②上記の①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

どのくらいの頻度で障害者の方が利用されますか？（複数回答可）

1, 数か月に1回

2, 月に1～3回

3, 毎週1回

4, 週に2～3回

5, 毎日

6, 全く利用されない

③①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

障害者の方が来たときはどのような対応をしていますか？（自由記述）

☆バリアフリーへの対応状況

1, 強く進めている

2, 進めている

3, どちらでもない

4, 関心はあるが進めていない

5, 全く進めていない

☆今回の研究の調査結果の情報を公開する予定です。

そこで、どの範囲まで公開してよろしいでしょうか？

結果を公開した場合、障害者の利用が増える可能性もございます。（複数回答可）

1, 店舗名

2, 店舗種別

3, 所在地

4, 市町村

5, 店舗の外観

6, その他（ ）

アンケートにお答えいただきありがとうございました。

平成 26 年 12 月 12 日

ケース 3

☆障害者のご利用状況

①障害のある方がご来店されますか？（複数回答可）

1, 肢体不自由

2, 聴覚障害

3, 視覚障害

4, 知的障害

5, 精神障害

6, 障害者だと思うが詳細はわからない

7, 障害者は来店しない

②上記の①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

どのくらいの頻度で障害者の方が利用されますか？（複数回答可）

1, 数か月に1回

2, 月に1～3回

3, 毎週1回

4, 週に2～3回

5, 毎日

6, 全く利用されない

③①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

障害者の方が来たときはどのような対応をしていますか？（自由記述）

気づいた従業員がサポート（椅子を動かす、必要に応じてストロー・割り箸・フォークの提供）

☆バリアフリーへの対応状況

1, 強く進めている

2, 進めている

3, どちらでもない

4, 関心はあるが進めていない

5, 全く進めていない

☆今回の研究の調査結果の情報を公開する予定です。

そこで、どの範囲まで公開してよろしいでしょうか？

結果を公開した場合、障害者の利用が増える可能性もございます。（複数回答可）

1, 店舗名

2, 店舗種別

3, 所在地

4, 市町村

5, 店舗の外観

6, その他（ ）

アンケートにお答えいただきありがとうございました。

平成 26 年 9 月 8 日

ケース4 「信州麺屋 泰」

☆障害者のご利用状況

①障害のある方がご来店されますか？（複数回答可）

1, 肢体不自由

2, 聴覚障害

3, 視覚障害

4, 知的障害

5, 精神障害

6, 障害者だと思うが詳細はわからない

7, 障害者は来店しない

②上記の①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

どのくらいの頻度で障害者の方が利用されますか？（複数回答可）

1, 数か月に1回

2, 月に1～3回

3, 毎週1回

4, 週に2～3回

5, 毎日

6, 全く利用されない

③①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

障害者の方が来たときはどのような対応をしていますか？（自由記述）

出来る限り、助ける！

☆バリアフリーへの対応状況

1, 強く進めている

2, 進めている

3, どちらでもない

4, 関心はあるが進めていない

5, 全く進めていない

☆今回の研究の調査結果の情報を公開する予定です。

そこで、どの範囲まで公開してよろしいでしょうか？

結果を公開した場合、障害者の利用が増える可能性もございます。（複数回答可）

1, 店舗名

2, 店舗種別

3, 所在地

4, 市町村

5, 店舗の外観

6, その他（

アンケートにお答えいただきありがとうございました。

平成26年 12月 20日

信州麺屋 泰 (ラーメン店)

〒386-1105 長野県上田市吉田 5-3-1 住吉ビル 1F



参考画像1 出入口



参考画像2 店内

ケース5 「どらごんらーめん」

☆障害者のご利用状況

①障害のある方がご来店されますか？（複数回答可）

1,肢体不自由

2,聴覚障害

3,視覚障害

4,知的障害

5,精神障害

6,障害者だと思うが詳細はわからない

7,障害者は来店しない

②上記の①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

どのくらいの頻度で障害者の方が利用されますか？（複数回答可）

1,数か月に1回

2,月に1～3回

3,毎週1回

4,週に2～3回

5,毎日

6,全く利用されない

③①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

障害者の方が来たときはどのような対応をしていますか？（自由記述）

車いす利用者が来店したときには、椅子を動かし、ドアを開ける

☆バリアフリーへの対応状況

1,強く進めている

2,進めている

3,どちらでもない

4,関心はあるが進めていない

5,全く進めていない

☆今回の研究の調査結果の情報を公開する予定です。

そこで、どの範囲まで公開してよろしいでしょうか？

結果を公開した場合、障害者の利用が増える可能性もございます。（複数回答可）

1,店舗名

2,店舗種別

3,所在地

4,市町村

5,店舗の外観

6,その他（

アンケートにお答えいただきありがとうございました。

平成27年 1月 22日

どらごんらーめん (ラーメン店)

〒386-0034 長野県上田市中之条 74-6



参考画像 店内

ケース6 「中華料理 ちくりん」

☆障害者のご利用状況

①障害のある方がご来店されますか？（複数回答可）

1, 肢体不自由

2, 聴覚障害

3, 視覚障害

4, 知的障害

5, 精神障害

6, 障害者だと思うが詳細はわからない

7, 障害者は来店しない

②上記の①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

どのくらいの頻度で障害者の方が利用されますか？（複数回答可）

1, 数か月に1回

2, 月に1～3回

3, 毎週1回

4, 週に2～3回

5, 毎日

6, 全く利用されない

③①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

障害者の方が来たときはどのような対応をしていますか？（自由記述）

様子を見て声掛けしたり、介助をしています。

☆バリアフリーへの対応状況

1, 強く進めている

2, 進めている

3, どちらでもない

4, 関心はあるが進めていない

5, 全く進めていない

☆今回の研究の調査結果の情報を公開する予定です。

そこで、どの範囲まで公開してよろしいでしょうか？

結果を公開した場合、障害者の利用が増える可能性もございます。（複数回答可）

1, 店舗名

2, 店舗種別

3, 所在地

4, 市町村

5, 店舗の外観

6, その他（

アンケートにお答えいただきありがとうございました。

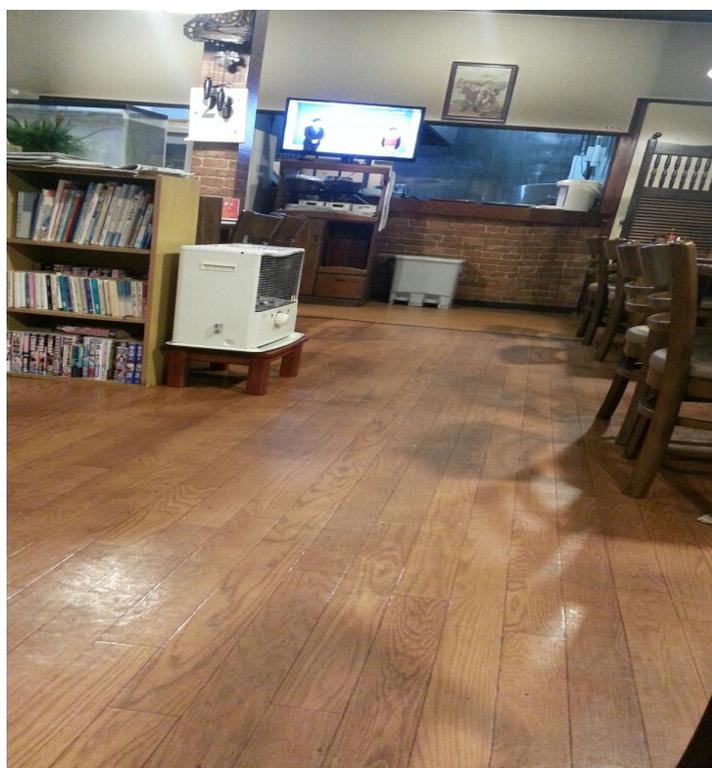
平成27年 1月 23日

中華料理 ちくりん (中華料理店)

〒386-0401 長野県上田市塩川 2910-1



参考画像1 外観



参考画像2 店内

ケース 1

チェック項目	ケース 1
廊下など	
①表面は滑りにくい仕上げであるか	△
②点状ブロック等の敷設 (階段又は傾斜路の上端に近接する部分)	×
③幅は120cm以上であるか	○
④戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	
傾斜路	
①手すりを設けているか (1/12以下で高さが16cm未満の傾斜部分は免除)	
②表面は滑りにくい仕上げであるか	
③前後の廊下等と識別しやすいものか	
④幅は120cm以上 (階段に併設される場合は90cm以上) であるか	
⑤勾配は 1/12以下 (高さが16cm以下の場合は1/8以下) であるか	
便所	
①車いす利用者用便房を設けているか	×
(1)腰掛便座、手すり等が適切に配置されているか	×
(2)車いすで利用しやすいように十分な空間が確保されているか	×
②水洗器具 (オストメイト対応) を設けた便房を設けているか	×
③床置き式の小便器、壁掛式小便器 (受け口の高さが35cm以下のものに限る) その他これらに類する小便器を設けているか	×
出入口	
①幅は80cm以上であるか	×
②戸は車いす利用者通過しやすく、前後に水平部分が設けてあるか	△
敷地内の通路	
①幅は120cm以上あるか	○
カウンター席などの調査	
①床からの高さ	62.5
②壁からの長さ	48
③厚さ	4.3
④足置きがあるか (長さ・厚さ・高さ)	×
⑤椅子は移動可能か	○
⑥井の高さ	8.8
⑦荷物置き (長さ・厚さ・高さ)	16/2.5
入口の段差	
①高さ	14.1/14.9
②幅	210

・ 障害者用の駐車場とトイレはない。ドアは引き戸で、店内はカウンター席のみ。

ケース 2

チェック項目	ケース 2
廊下など	
①表面は滑りにくい仕上げであるか	○
②点状ブロック等の敷設 (階段又は傾斜路の上端に近接する部分)	×
③幅は120cm以上であるか	○
④戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	
傾斜路	
①手すりを設けているか (1/12以下で高さが16cm未満の傾斜部分は免除)	
②表面は滑りにくい仕上げであるか	
③前後の廊下等と識別しやすいものか	
④幅は120cm以上 (階段に併設される場合は90cm以上) であるか	
⑤勾配は 1/12以下 (高さが16cm以下の場合は1/8以下) であるか	
便所	
①車いす利用者用便房を設けているか	×
(1)腰掛便座、手すり等が適切に配置されているか	△
(2)車いすで利用しやすいように十分な空間が確保されているか	○
②水洗器具 (オストメイト対応) を設けた便房を設けているか	○
③床置き式の小便器、壁掛式小便器 (受け口の高さが35cm以下のものに限る) その他これらに類する小便器を設けているか	×
出入口	
①幅は80cm以上であるか	○
②戸は車いす利用者通過しやすく、前後に水平部分が設けてあるか	○
敷地内の通路	
①幅は120cm以上あるか	○
カウンター席などの調査	
①床からの高さ	83.2/65.8
②壁からの長さ	86/54.7
③厚さ	8.2/3.8
④足置きがあるか (長さ・厚さ・高さ)	○高さ17/×
⑤椅子は移動可能か	×/○
⑥井の高さ	8.6
⑦荷物置き (長さ・厚さ・高さ)	×
入口の段差	
①高さ	
②幅	

・ 障害者用のトイレはないが、広さはある。駐車場から店内までは水平である。
 ・ 障害者が来店した際の対応としては、相手から主張されない限り行動はしない。

ケース3

チェック項目	ケース3
廊下など	
①表面は滑りにくい仕上げであるか	△
②点状ブロック等の敷設 (階段又は傾斜路の上端に近接する部分)	×
③幅は120cm以上であるか	×
④戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	○
傾斜路	
①手すりを設けているか (1/12以下で高さが16cm未満の傾斜部分は免除)	
②表面は滑りにくい仕上げであるか	
③前後の廊下等と識別しやすいものか	
④幅は120cm以上 (階段に併設される場合は90cm以上) であるか	
⑤勾配は1/12以下 (高さ16cm以下の場合は1/8以下) であるか	
便所	
①車いす利用者用便房を設けているか	×
(1)腰掛便座、手すり等が適切に配置されているか	×
(2)車いすで利用しやすいように十分な空間が確保されているか	×
②水洗器具 (オストメイト対応) を設けた便房を設けているか	×
③床置き式の小便器、壁掛式小便器 (受け口の高さが35cm以下のものに限る) その他これらに類する小便器を設けているか	×
出入口	
①幅は80cm以上であるか	○
②戸は車いす利用者通過しやすく、前後に水平部分が設けてあるか	○
敷地内の通路	
①幅は120cm以上あるか	
カウンター席などの調査	
①床からの高さ	86.8
②壁からの長さ	41
③厚さ	7.5
④足置きがあるか (長さ・厚さ・高さ)	○
⑤椅子は移動可能か	○
⑥井の高さ	9.7
⑦荷物置き (長さ・厚さ・高さ)	×
入口の段差	
①高さ	
②幅	

- ・トイレは車いす利用が困難。
- ・従業員が積極的に声掛けをし、サポートする。

ケース4 信州麺屋 泰

チェック項目	泰
廊下など	
①表面は滑りにくい仕上げであるか	△
②点状ブロック等の敷設 (階段又は傾斜路の上端に近接する部分)	
③幅は120cm以上であるか	○
④戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	○
傾斜路	
①手すりを設けているか (1/12以下で高さが16cm未満の傾斜部分は免除)	
②表面は滑りにくい仕上げであるか	
③前後の廊下等と識別しやすいものか	
④幅は120cm以上 (階段に併設される場合は90cm以上) であるか	
⑤勾配は1/12以下 (高さ16cm以下の場合は1/8以下) であるか	
便所	
①車いす利用者用便房を設けているか	×
(1)腰掛便座、手すり等が適切に配置されているか	×
(2)車いすで利用しやすいように十分な空間が確保されているか	×
②水洗器具 (オストメイト対応) を設けた便房を設けているか	×
③床置き式の小便器、壁掛式小便器 (受け口の高さが35cm以下のものに限る) その他これらに類する小便器を設けているか	×
出入口	
①幅は80cm以上であるか	○
②戸は車いす利用者通過しやすく、前後に水平部分が設けてあるか	×
敷地内の通路	
①幅は120cm以上あるか	○
カウンター席などの調査	
①床からの高さ	78.6/68.6
②壁からの長さ	48.3/70
③厚さ	2.4/2.8
④足置きがあるか (長さ・厚さ・高さ)	○/×
⑤椅子は移動可能か	○
⑥井の高さ	8.5
⑦荷物置き (長さ・厚さ・高さ)	○
入口の段差	
①高さ	10
②幅	

- ・店内は広く、段差もないので車いすでの転回が可能。
- ・トイレは利用不可。
- ・出入口に小石が敷き詰められており、車いすで通行するとき危険である。

ケース5 どころらーめん

チェック項目	どころ
廊下など	
①表面は滑りにくい仕上げであるか	○
②点状ブロック等の敷設 (階段又は傾斜路の上端に近接する部分)	○
③幅は120cm以上であるか	○
④戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	○
傾斜路	
①手すりを設けているか (1/12以下で高さが16cm未満の傾斜部分は免除)	
②表面は滑りにくい仕上げであるか	
③前後の廊下等と識別しやすいものか	
④幅は120cm以上 (階段に併設される場合は90cm以上) であるか	
⑤勾配は 1/12以下 高さ16cm以下の場合(1/8以下) であるか	
便所	
①車いす利用者用便房を設けているか	×
(1)腰掛便座、手すり等が適切に配置されているか	×
(2)車いすで利用しやすいように十分な空間が確保されているか	×
②水洗器具 (オストメイト対応) を設けた便房を設けているか	×
③床置き式の小便器、壁掛式小便器 (受け口の高さが35cm以下のものに限る) その他これらに類する小便器を設けているか	×
出入口	
①幅は80cm以上であるか	×
②戸は車いす利用者通過しやすく、前後に水平部分が設けてあるか	○
敷地内の通路	
①幅は120cm以上あるか	○
カウンター席などの調査	
①床からの高さ	70
②壁からの長さ	40.5
③厚さ	2.9
④足置きがあるか (長さ・厚さ・高さ)	×
⑤椅子は移動可能か	○
⑥井の高さ	8
⑦荷物置き (長さ・厚さ・高さ)	×
入口の段差	
①高さ	
②幅	

・トイレは利用不可だが、従業員が福祉施設で働いていた経歴があるため、きちんとした対応が可能。

ケース6 中華料理 ちくりん

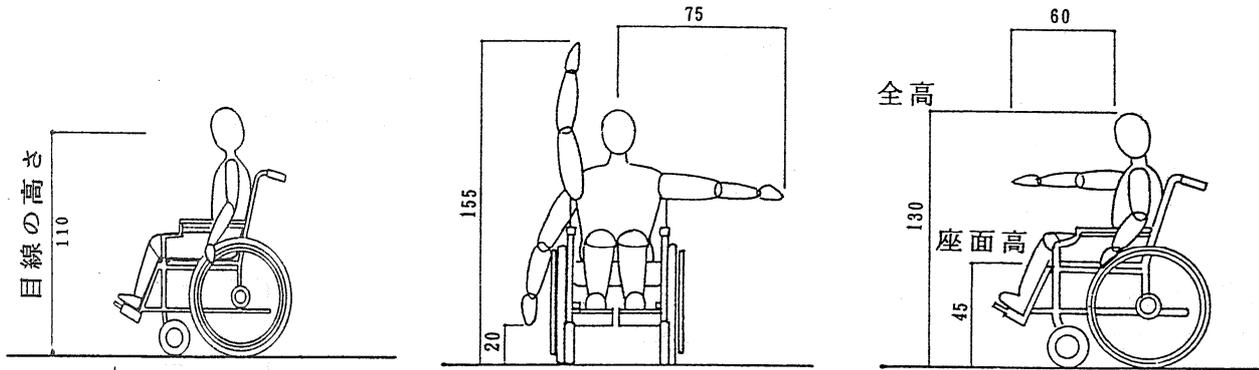
チェック項目	ちくりん
廊下など	
①表面は滑りにくい仕上げであるか	○
②点状ブロック等の敷設 (階段又は傾斜路の上端に近接する部分)	○
③幅は120cm以上であるか	○
④戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	○
傾斜路	
①手すりを設けているか (1/12以下で高さが16cm未満の傾斜部分は免除)	
②表面は滑りにくい仕上げであるか	
③前後の廊下等と識別しやすいものか	
④幅は120cm以上 (階段に併設される場合は90cm以上) であるか	
⑤勾配は 1/12以下 高さ16cm以下の場合(1/8以下) であるか	
便所	
①車いす利用者用便房を設けているか	×
(1)腰掛便座、手すり等が適切に配置されているか	×
(2)車いすで利用しやすいように十分な空間が確保されているか	×
②水洗器具 (オストメイト対応) を設けた便房を設けているか	×
③床置き式の小便器、壁掛式小便器 (受け口の高さが35cm以下のものに限る) その他これらに類する小便器を設けているか	×
出入口	
①幅は80cm以上であるか	△
②戸は車いす利用者通過しやすく、前後に水平部分が設けてあるか	○
敷地内の通路	
①幅は120cm以上あるか	○
カウンター席などの調査	
①床からの高さ	66
②壁からの長さ	149.6
③厚さ	2.9
④足置きがあるか (長さ・厚さ・高さ)	×
⑤椅子は移動可能か	○
⑥井の高さ	8
⑦荷物置き (長さ・厚さ・高さ)	×
入口の段差	
①高さ	
②幅	

- ・駐車場から店内までは水平である。
- ・トイレは利用不可。
- ・介護福祉士の資格を持っている従業員がおり、きちんとした対応が可能。

人間工学的寸法

車いす使用者の人間工学的寸法は、以下の通りである。

目線の高さ と 手の届く範囲



出典：ハンディキャップ者配慮の設計手引き/日本建築学会設計計画パンフレット 26/昭和 59 年/発行：彰国社

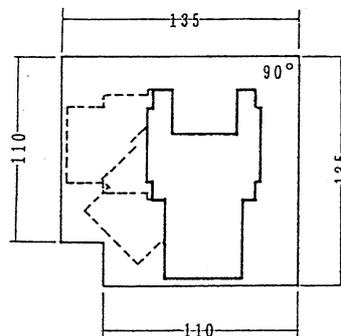
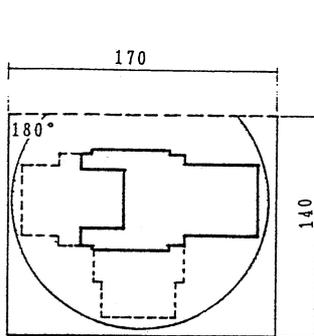
車いす使用者の基本動作寸法

車いす使用者にとって最小限必要な動作空間は、以下の通りである。

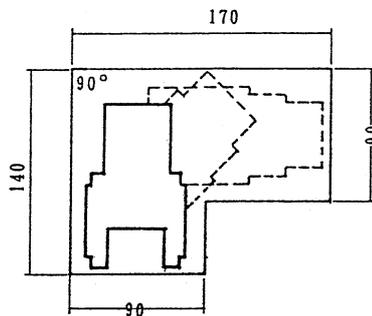
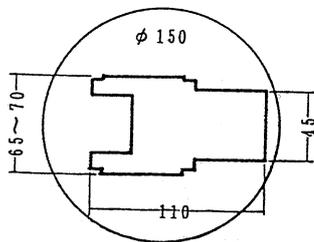
□ 手動車いすの最小動作空間

180°回転（車輪中央を中心）

90°回転（車軸中央を中心）



最小の回転円 直角路の通過



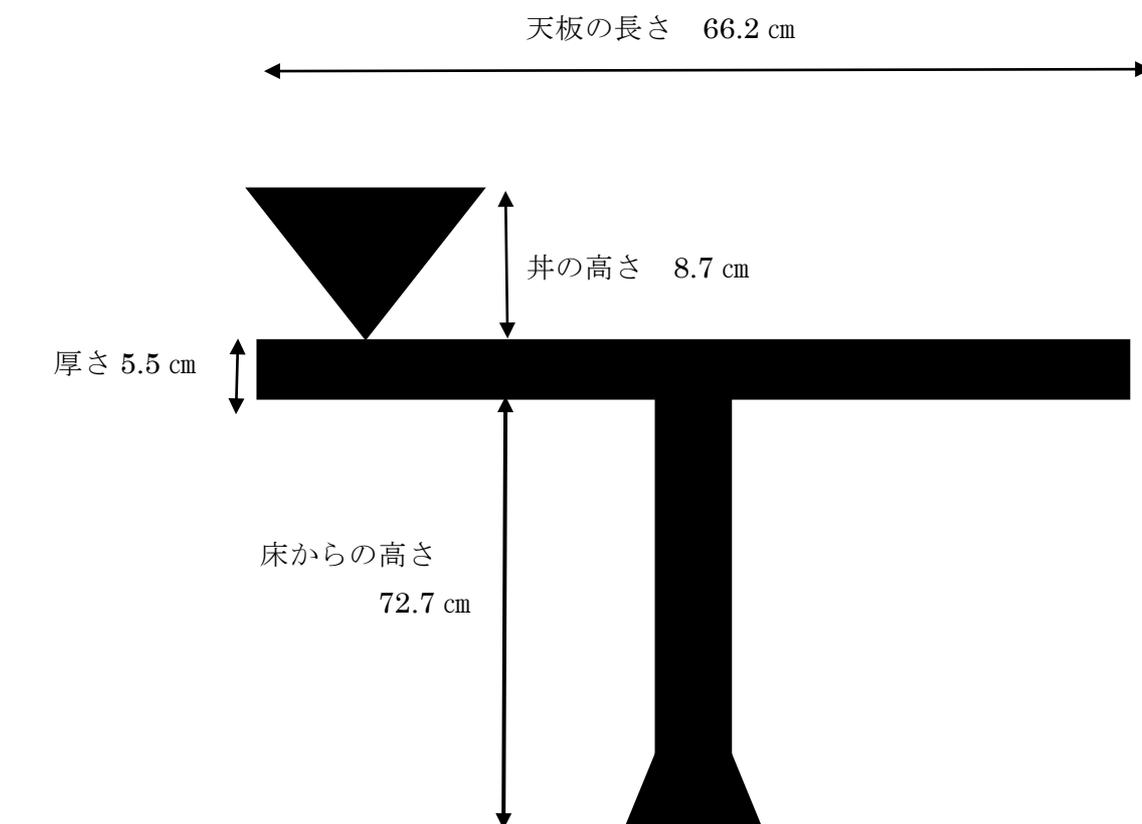
□ 電動車いすの最小動作空間

360°回転（車軸中央を中心）

180°回転（車軸中央を中心）

この図に示した寸法を満たしている店舗であれば、車いすでの転回が可能である。

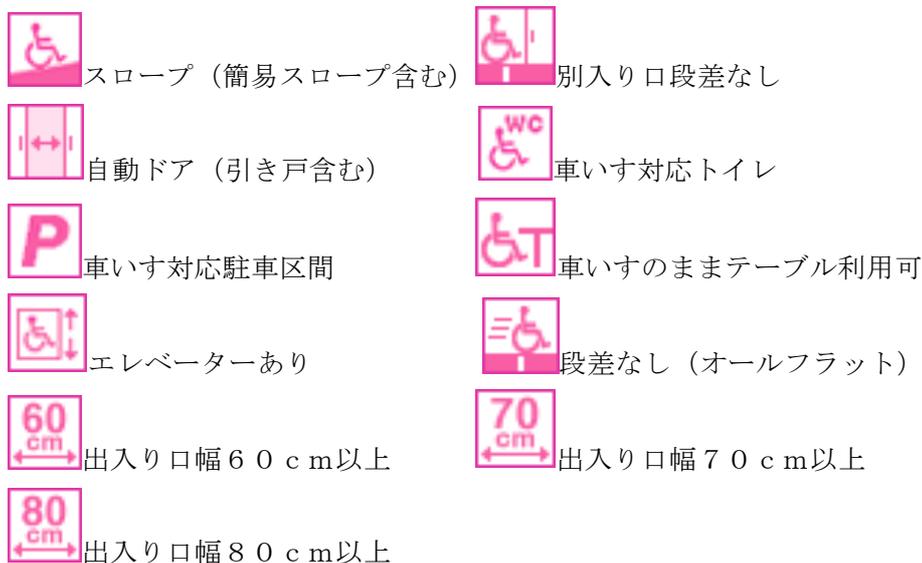
全店舗の座席と食器の平均値



調査を行った全店舗において座席と食器の測定を行い平均値をだした結果、床から天板の高さ 72.7 cm、天板の厚さ 5.5 cm、天板の長さ 66.2 cm、井の高さ 8.7 cmであった。JIS 規格による車いすの寸法は、全長 120 cm、全高 109 cmと規定されている。また JIS によると車いす利用者の目線の高さは 110 cmで、手の届く範囲は 75 cmである。これらのことから座席で食事することは寸法上可能であるが、店の出入口に段差がある店舗は入店から困難になってしまうため介助者の同伴がなければ難しいとわかった。

全店舗バリアフリー状況一覧

「NPO法人 アクセシブル・ラボ」が掲示する、以下のアイコンを使い全店舗のバリアフリー状況をまとめた。



ケース 1



ケース 2



ケース 3



ケース 4 信州麺屋 泰



ケース 5 どんごんラーメン



ケース 6 中華料理ちくりん



考察

調査結果から、6店中4店は車いす利用者の利用が月に平均2,3人程度あるが、車いす利用者への対応手順が明確化されていないため対応にばらつきがある。また一人で来店する場合は食事しやすい環境の設定が必要になるため従業員や店舗側の配慮が必要であると考え。さらに店舗情報を調べる際にバリアフリー状況を明確に記載している店舗がなかったため、直接出向かなければバリアフリー状況を知ることができないという現状があったことから今回全店舗バリアフリー状況一覧で使用した「NPO 法人 アクセシブル・ラボ」が掲示するアイコンを店舗情報にて使用することによって、よりわかりやすく円滑に店舗選びができるのではないかと考える。

結論

一人で行動のできる車いす利用者にとってはアンケートとチェックリストの結果を元に、以下の項目を満たしていれば一人でも食事をするのが可能なのではないかと考えられた(ページ11~13参照)。

- ・カウンターかテーブル席のいずれかの椅子が移動可能
- ・席の下には足置きや荷物置きがなく車いすが入りきる空間
- ・車いす利用者が利用しやすい便所または手すりがあると良い
- ・床質は滑りにくい材質であること
- ・必要に応じて割り箸とストローとフォークを提供できるように準備しておく
- ・特別な扱いはせず、なにか困っているようなら従業員が声をかける

これはあくまで我々が考察した基準に過ぎないので店舗側として完璧に実現するという事は不可能であろう。しかし、車いす利用者が店を利用する最初の判断としては、車いすで店内に入れるかどうかである。そこで段差がある場合、スロープを取り付けるなどして、改善することが第一歩だと思う。

感想

この研究を行う前は、車いす利用者や障害者が飲食店を利用することはないだろうという先入観を持っていたが、調査をしていく中で車いす利用者も飲食店を利用するということがわかりました。また、店舗側にバリアフリーへの関心があることもわかり、車いす利用者を受け入れる姿勢を持っていただいている様子が見えかけたことは、我々がこの研究を行うきっかけにもなった「なにかできることはないだろうか」という目的を少しでも達成できたのではないかと思います。

まとめ

今回の調査はいわば中間地点である。本来調査を予定していた店舗は数十店舗あったが、わずか6店舗しか調査できなかった。その原因は金銭と時間がかかりすぎるという問題点である。今の時代、ラーメン一杯のおよその相場は650～800円程度である。調査の度に食事をしていたら相当な金額がかかってしまう。かといって調査をお願いする立場としては、食事をしないというのは大変失礼なことである。その店舗の味を確かめたいという調査をすることで自身が調査員としてではなく、一人の客の目線から観察することができるからである。時間がかかりすぎるというのは、店舗側との交渉がうまくいかず時間がかかるということである。特に大手チェーン店の場合、その店舗の責任者が独断で調査を許可するわけにはいかず、本社に問い合わせを行わなければならない、承諾を得るまでに時間がかかる。この二点が調査を大幅に遅らせてしまった要因ではないかと考える。だが、その中でも6店舗は調査できた。

果たして問題点はそこだけなのか？ 私たちは接客業という人間同士の交流がある場面では、人間が一番関係しているのではないかと考える。車いす利用者が来店したときに、嫌だと思えることは正直あるのではないかと？ 自分とは違う、「車いす利用者」というだけで我々は距離を置いてしまうものだ。だが、そういうときにこそ我々が手を差し伸べる必要があるのではないだろうか？ たとえ、設備が整っていなくともしっかりと接客することでどんな客も気持ちよく帰り、また来たいと思うのではないだろうか。そこからバリアフリーへの対応は始まっている気がする。もし、今後車いす利用者が食事をしに来てもどうか、いつも通り接客してほしい。車いす利用者が一人で食事に来ても、笑顔で食事をしてほしい。そのためには、設備と人との両方が整ってこそ実現可能だと思う。

その中でも、特に優先して行わなければならないことは、出入口の段差をなくすことであると考え。出入口の段差をなくすことによって、入店しやすくなり、車いす利用者が利用することで店舗側も対応の仕方や、店内の設備について考えることができるのではないだろうか。この調査を目にした飲食店のみなさまには、少しでもバリアフリーへの興味をもっていただき、車いす利用者も健常者も楽しく不自由なく楽しく食事ができるような店舗になっていただきたい。少しでもこの地域でバリアフリーに特化した飲食店が増えてもいいのではないだろうか。私たちはそんな風に思う。最後に、調査に協力してくださった店舗のみなさまありがとうございました。少しずつでいい、改善できるところから改善していただきたいと思う。以上。

謝辞

本研究に際して様々な指導を頂きました長野大学社会福祉学部社会福祉学科 教授伊藤英一先生に深謝いたします。また調査の際に助言を頂いた障害者支援施設「上田しいのみ園」角田信治園長ならびに利用者の皆様とお忙しい中、アンケート等の調査にご協力頂いた店舗の皆様へ心から感謝の気持ちと御礼を申し上げます。謝辞にかえさせていただきます。

付録①

調査に関するアンケート

☆障害者のご利用状況

①障害のある方がご来店されますか？（複数回答可）

- 1, 肢体不自由 2, 聴覚障害 3, 視覚障害
- 4, 知的障害 5, 精神障害 6, 障害者だと思うが詳細はわからない
- 7, 障害者は来店しない

②上記の①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

どのくらいの頻度で障害者の方が利用されますか？（複数回答可）

- 1, 数か月に1回 2, 月に1～3回 3, 毎週1回
- 4, 週に2～3回 5, 毎日 6, 全く利用されない

③①で1～4と答えていただいた場合のみお答えください。

障害者の方が来たときはどのような対応をしていますか？（自由記述）

☆バリアフリーへの対応状況

- 1, 強く進めている 2, 進めている 3, どちらでもない
- 4, 関心はあるが進めていない 5, 全く進めていない

☆今回の研究の調査結果の情報を公開する予定です。

そこで、どの範囲まで公開してよろしいでしょうか？

結果を公開した場合、障害者の利用が増える可能性もございます。（複数回答可）

- 1, 店舗名 2, 店舗種別 3, 所在地
- 4, 市町村 5, 店舗の外観 6, その他（ ）

アンケートにお答えいただきありがとうございました。

年 月 日

責任者様氏名： _____

付録②

店舗名

施設等	チェック項目	
廊下等 (第 11 条)	①表面は滑りにくい仕上げであるか	
	②点状ブロック等の敷設（階段又は傾斜路の上端に近接する部分）※1	
傾斜路 (第 13 条)	①手すりを設けているか（勾配1/12以下で高さ16cm未満の傾斜部分は免除）	
	②表面は滑りにくい仕上げであるか	
	③前後の廊下等と識別しやすいものか	
便所 (第 14 条)	①車いす使用者用便房を設けているか（1以上）	
	(1)腰掛便座、手すり等が適切に配置されているか	
	(2)車いすで利用しやすいよう十分な空間が確保されているか	
	②水洗器具（オストメイト対応）を設けた便房を設けているか（1以上）	
	③床置き式の小便器、壁掛式小便器（受け口の高さが35cm 以下のものに限る）その他これらに類する小便器を設けているか（1以上）	

施設等	チェック項目	
出入口 (第二号)	①幅は80cm以上であるか	
	②戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	
廊下等 (第三号)	①幅は120cm以上であるか	
	③戸は車いす使用者が通過しやすく、前後に水平部分を設けているか	
傾斜路 (第四号)	①幅は120cm以上（階段に併設する場合は90cm以上）であるか	
敷地内の通路 (第七号)	①幅は120cm以上であるか	

カウンター席などの調査

床からの高さ	
壁からの長さ	
厚さ	
足置きがあるか	
椅子は移動可能か	

参考文献

- ・国土交通省 建築物移動等円滑化基準チェックリスト

<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/barrier-free.html> (H27、2、12)

- ・NPO法人「アクセシブル・ラボ」

<http://accessible-labo.org/>

- ・国土交通省 第四章 基本寸法等

www.mlit.go.jp/common/001029392.pdf

長野大学社会福祉学部

伊藤専門ゼミナール報告書

平成 27 年 3 月発行

本件に関する問い合わせ先：

長野大学社会福祉学部社会福祉学科

伊藤英一（教授）

<http://www2.nagano.ac.jp/ito/>

長野県上田市下之郷 658-1

0268-39-0001（代）